

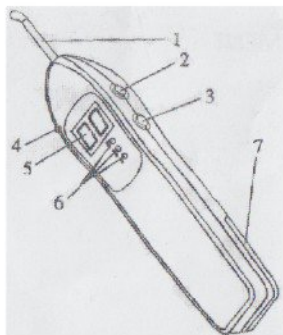
パルプテスター 取扱説明書



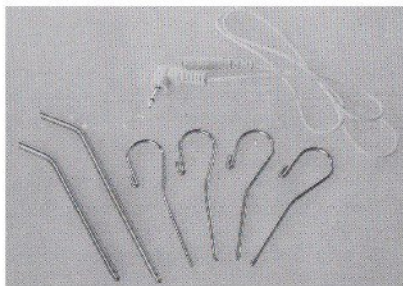
I. 概要

パルプテスターは、電気刺激を用いて歯髄の生存性を検査するための装置です。パルプテスト中、電流が歯内神経を刺激し、患者に激しい痛みを与えます。歯の歯髄神経が生存しているかどうかを判断するために、感覚閾値を超える刺激を与えて被験者の反応を測定する研究が行われてきました。そのため、この装置は極めて高効率な方法で歯髄の生存性を正確に測定することができます。

II. 構成部品および特徴



- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 検査用電極 | 2. 電源スイッチ |
| 3. 速度モードスイッチ | 4. ケーブルソケット |
| 5. LCD画面 | 6. 表示灯 |
| 7. バッテリーカバー | |



標準付属品

試験電極 2個

試験ケーブル 1個

ステンレス製フック 4個

特長

- ・ プリセット速度モード（高速・中速・低速）

穏やかなパルス刺激が、高速・中速・低速の順に徐々に強くなっていきます

- ・ 患者の快適性を考慮して特別に設計されています

患者が感覚を認識したことを示した場合は、ボタンを離すだけで結構です。刺激は直ちに停止しますが、表示された数値は約3分間画面上に表示されたままになります。

- ・ 操作が簡単

刺激電流反応のピーク数値——80。

0～40の間では、患者は痛みや麻痺を感じます。これは歯の神経が生きていることを意味します

40～80の間で、前述の反応が見られる場合は、歯髓の一部が死んでいることを意味します

80以上で上記の反応が見られない場合、歯髓が死んでいることを示します

- ・ 操作開始から3分後に本機は自動的に電源が切れます（電池の無駄がありません）。

III. 仕様および機器の分類

a). 電池駆動

出力電圧： 9.0V DC

出力電流： 90mA

b). 機器クラス： クラスII（医療機器）

分類カタログ)

c). 液体の侵入に対する保護：なし

f). 液体の侵入に対する保護：なし

g). 使用環境：空気または亜酸化窒素と混合した可燃性麻酔ガスが存在する環境での使用には適していません。

IV. 操作

1. 試験用ワイヤーを本体のケーブルソケットに接続し、その後、ステンレス製フックと試験用電極を本体のインターフェースに挿入する

2. 測定対象の歯を唾液から厳密に分離し、刺激電流が歯茎から流れるのを防ぐため、歯の表面が乾くまで息を吹きかけてください。

歯茎から伝導するのを防ぐこと。そうしないと、誤った刺激電流が生じる。特に接合部付近の乾燥には細心の注意を払う必要がある。そこで電流を遮断しないと、誤った刺激電流信号が現れる。

3. ステンレス製のフックを口内の任意の側に掛け、速度モードを選択します（速度モード：「高」は高速、「中」は中速、「低」は低速を意味します）。

4. テスト電極と対象となる歯の接触面（1/3スライス側）に、導電性接着剤または歯磨き粉を少量塗布します。

その後、電源スイッチを押します。

次に、テスト電極を、対象となる歯の表面に当てます。その後、装置が作動し、同時に画面上の数値が上昇し続けます。

5. 患者がわずかな歯痛や麻痺を感じたら、試験電極を歯から離し、画面上の数値を確認して記録してください。この数値が、その歯の刺激電流反応値となります。

6. 刺激電流反応の数値のピークは 80 です。0～40 の間で、患者が痛みや麻痺の反応を示す場合、歯科医師は神経がまだ生きていることを確認できます。数値が40～80の範囲で上昇し、かつ患者に前述の反応が見られる場合のみ、歯科医は歯の神経の一部が死んでいると断定できます！数値が80に達しても、歯に前述の反応が見られない場合は、神経がすでに死んでいることを示しています！

7. 操作後、測定結果はLCD画面上に3分間表示されたままとなり、その後、本機は自動的に電源が切れます。

* 電源を入れた後、ディスプレイに「LO」と表示されている場合は、バッテリーの充電が必要です。

VI. メンテナンス

1. 本機は専門的な知識がない限り分解しないでください。分解すると、本機が完全に破損する恐れがあります。
2. 純正の充電器をご使用ください。他の充電器を使用すると、バッテリーや制御回路が損傷し、機器自体にも重大な損傷を与える可能性があります。
3. 本機器の使用後、歯科医療従事者は滅菌済みのシートで機器を覆ってください。
4. 本機は純水またはエタノールで洗浄し、標準的な消毒手順に従って部品を消毒してください。パルプテスターは、床に落下するのを防ぐため、乾燥した清潔な収納庫内の純正梱包箱に保管してください。

VIII. 保管および輸送環境：

周囲温度：-40℃ ~ +55℃

相対湿度範囲：10% ~ 90%

気圧：500Pa ~ 1060hPa

取り扱いには十分注意してください。

連絡先

kadashika.jp@gmail.com

URL: <https://www.kadashika.jp/>